

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月27日

計画の名称	摂津市鳥飼地域における高台まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	摂津市												
計画の目標	<p>摂津市は、面積の約60%が一級河川の淀川と安威川に挟まれた低平地であり、特に鳥飼地域は、淀川の浸水想定区域図によれば、そのほとんどが2-5mの範囲で浸水し、一部の地区では7mを超えることに加え、浸水継続時間も最大2週間以上と想定されております。その特性上、ひとたび水害に見舞われると約6万人が避難を要するなど、その被害は甚大となります。</p> <p>しかしながら、鳥飼地域（第二中学校区）では、水害時における避難者約1.7万人に対し約600人分しか避難場所が確保できておらず、避難者数に対する避難場所が大きく不足しています。本市の避難は、広域避難が原則であるものの、水害時に対する垂直避難が可能となる避難場所の確保は喫緊の課題であります。</p> <p>本計画では、本市の掲げる高台まちづくりを推進する核となる施設の整備及び高床化等を行うことにより、水害時における避難場所の収容可能人数を増加させることを目標としています。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,667	A	1,667	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R4当初	中間目標値 R6末	最終目標値 R8末
1	第二中学校区における避難場所の収容可能人数（610人→710人） 高台まちづくりの推進の核となる施設を整備することにより、避難場所等を確保するため、整備を予定している第二中学校区における避難場所の収容可能人数を測定する。（現状）610人（整備後）710人	610人	610人	710人
2	「摂津市は災害に強いまちづくりが進んでいると思う」と答えた市民の割合（37.6%→80.0%） 高台まちづくりの推進の核となる避難場所等の整備や、それら拠点を活用した防災訓練・防災学習の実施等といったハード・ソフト一体の対策を実施し、市民意識の醸成（熟度）を確認する。（現状）37.6%（整備後）80.0%	37%	63%	80%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	摂津市	直接	摂津市	—	—	都市安全確保拠点整備事業	摂津市烏飼西地区における避難施設の整備（A=2.3ha）	摂津市	■	■	■	■	■	1,667		策定中
												小計						1,667	
											合計						1,667		

(参考様式3) 参考図面

